

(別添 4)

【矢板市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1 人 1 台端末や校内ネットワーク等の ICT 環境の充実を図ることで、個々の最適な学びと協働的な学びを一体的に充実できるよう、次のような学びの姿を目指す。

- ・ 端末を用いた学習と紙媒体を用いた学習それぞれの良さを理解するとともに、学習内容等に応じて自分に合った学び方を選択し、端末を文房具の一つとして扱いながら学習しようとする姿。
- ・ 自らの興味や関心に応じて学習の目標を設定し、その達成に向けて端末を効果的に用いながら学習を深めたり広げたりしようとする姿。
- ・ 探究的な学習や体験学習において、端末を用いながら、学校内及び地域など、多様な他者と協働して学びを深めようとする姿。

2. GIGA 第 1 期の総括

本市では、令和 2 年度までに市内 9 校、1 人 1 台端末として約 2700 台（予備機含む）の端末を整備し、コロナ禍であっても児童生徒の学びが止まることのないよう環境整備等に取り組んできた。

GIGA スクール構想の推進にあっては、ICT 活用に係る指導力を有した教職員の存在が欠かせないことから、各学校に「GIGA スクール推進リーダー」を配置し、教育委員会と学校とで連携を図りながら、教職員の ICT 指導力向上のための研修会を実施してきた。

結果、授業内外において端末等 ICT 機器をよく活用している児童生徒の割合は、年々増加傾向にあると言え、教職員の端末等 ICT 活用状況についても、「ほぼ毎日授業や校務で使用している」と答える教職員の割合が 8 割を超えるなど、概ね良好な状況にある。

また、クラウドを用いることで校務の ICT 化も促進してきた一方、課題も見えてきている。その課題とは、児童生徒が一斉にインターネットへアクセスしたとき、サーバーへの負荷が高くなることで通信速度が低下する状態にあり、学習効率低下の要因につながることである。

今後、セキュリティを確保しつつ、ネットワーク構成の見直すことで、その解決を目指していく。